

東海支部愛知地域会 2022年度 第12回役員会 議事録

日 時 : 2023年5月31日(水) 13:00~13:40
 場 所 : ラグナスイート名古屋1F(名古屋市中区錦 3-12-13)
 ※WEB 会議を併用
 出 席 : 森哲哉 地域会長 近藤万記子 関口啓介 野々川光昭 各副地域会長
 (順不同・敬称略) 生津康広 西村和哉 会長補佐 澤村喜久夫 直前地域会長
 川本直義 上原徹也 各室長
 笹野直之 東福大輔 杉本憲治 黒野有一郎 柳澤力 各委員長・副委員長
 鈴木利明 水野豊秋 両監査
 委任状出席: 高木耕一 宮坂英司 間瀬高歩 奥井康史 恒川和久 吉元学 石川英樹
 オブザーバー: 尾関利勝 谷村茂 小田義彦 各顧問、大瀧東海支部長、矢田前支部長
 欠 席 : 中澤賢一
 議 長 : 近藤万記子
 議事録作成担当委員会: 建築相談委員会: 柳澤力
 議事録署名人: 生津康広 杉本憲治
 前回議事録確認: 2022年度第11回議事録

議 事

1. 地域会長挨拶

今年度最後の役員会になります。1年間大変お世話になり有り難うございました。これまでの事業で継続／発展できたもの、また、新しい方向の出てきたもの等、様々な活動を行う事が出来て感謝しております。その一方で、収入の減少、会員の減少、委員会の活性化など、反省点や課題もあります。これからも丁寧に議論を進めていきたいので、どうぞ宜しくお願いいたします。

2. 報告事項

(1) 本部報告

① 総務委員会 (5/11) (水野)

資料-1

第10回総務委員会報告

1: 前回議事録承認

2: 入退会の件、愛知の吉村君の退会、エフエヌワンさん、ノザワ名古屋支店さんの退会、野沢正光さんがお亡くなりになられて死亡退会。

3: 沖縄支部から照会のあった入会基準の件、沖縄は木造できちんと施工できる工務店が少ないこともあり、正会員がセルフビルドで事業を行いたい、という事に対しての正会員の話しである。前回、協力会員になってもらうしかないという話が戻ってきたため再度議論した。セルフビルトにおける施工上の建設業許可というものは、50㎡未満の木造で1500万円以下であれば不要で、それ以上だと建設業許可が必要ということになる。沖縄の場合は許可が必要なものになる(正会員資格はないものと判断)。造園業の場合もあったり、線引きが難しい部分もあり、逐一総務委員会なり理事会で判断していくことになる。

4: 関東甲信越支部および四国支部の規約改定承認。

5: 四国支部準会員、協力会員申込書の承認。

6: 2023年委員会構成について、長い委員会だと複数期の方が居る。特に業務委員会の仕様書、建賠、約款等のワーキングに4期、5期、10期、11期という方がかなり居る。後は、住宅等連携会議等の人数が多いので、ワーキングに振り分けて委員会構成を出しているようである。それらが反映されたものが次回理事会に提示されると思われる。カーボンニュートラル特別委員会は無くなり、それに替わるものが出来たようだ(注: 環境会議の中にワーキンググループとして残る予定)。

② 総務委員会 正会員資格に関する「専門性」についての回答(水野)

資料-2

(上記①-3)

③ 職能・資格制度/建築家資格制度委員会

資格制度の今後についての意見交換会(5/11、29)(野々川)

資料-3

佐藤会長を交えて資格制度のコアメンバーで2回の意見交換会を行い、直接会長から説明を受けた。まず①番の新資格制度、これはUIA基準の一部をクリアするもの。ポイントは3つあり、1つ目は経験/CPD/職業倫理を担保するもの、2つ目は対象者を一級に拘らず専兼は問わないこと、3つ目は統一的な設計職能者として取得を推進し、西尾市のコンペのやり方など進めていきたい。そしてこの①番は是非国家資格を目指して行きたい、APEC ARCHITECTと同程度ではないかとの話だった。次に、①と②JIA正会員メンバーシップは、UIA基準を全てクリアするものである。3番目

は①と②が正会員は必要。並走感はあるが、登録建築家はこの先も（国家資格化が）実現しないと考えられるので、現在求められている将来を見据えた資格になるべきと提案をしていると説明があった。会員の理解の為に各支部の総会に出て、全員は難しいとしてもアンケート等を経て大筋の賛同を得たら、来年あたりから具体的な2会協議を始めていきたい。②のメンバーシップは①の新資格取得が入会条件ということだが、現在の登録建築家資格になることを定めた会員規程運用の現状をみると同じような事がおきる可能性がある。新資格は現会員に対してはサンセット方式など考えているとのことだった。罰則規定に関して、①に対しても必要で、②に対しても懲戒審査委員会など、厳格に対応する必要があると進言した。委員会は相互認証からスタートしてはどうかと意見を述べたが、会長は、それだとそれで終わってしまうので、最初から2会協議で進めたい意向。九州支部は2つに意見が分かれている等、支部によっても認識が違うと感じた。北海道、関東甲信越、四国ではそれほど反対意見はなかったとの会長の感触。ただし違う感想の方もいる。今後は具体的にどのあたりを①に求め、どのあたりを②に求めるか、全くの技術資格で良いのか、今の時代に合い環境や街並みに対することも公益上は重要だと考えるが、佐藤会長は公益性を資格要件にすることにに対して積極的ではないという様子だった。

- ④ CPD 評議会 (4/28) (関口) 資料-4
4月28日開催、石橋氏が出席。2の新規プロバイダーおよびプログラム認定。新規プロバイダー認定は1件申請、1件承認。プログラム認定は全70件のうちG認定が42件、認定21件、確認7件。次に5月25日に開催されている。
- ⑤ 住宅等連携会議 (5/10) (西村) 資料-5
総務委員会の水野氏からも報告があったが、住宅連携会議は内容も多いため人数が多くなりすぎ、2つのワーキンググループを立ち上げることになった。「業務改善・コンペプロボ推進WG」「小規模事務所のBIM推進WG」である。会議では新旧の委員が参加。法規制改善のホームページ掲載について議論し、近々にUPされる予定。BIM推進については業務委員会とも連携して進めたい。

本部報告についての質問→無し

感想、意見

- ・資格制度について、会長は説明して走っているという印象なので、今日会えるのは良い機会。(近藤)
- ・先週の関東甲信越支部総会での会長発言と内容についてディスカッションが少しあった。50年先にも（国家資格として）認められないような資格を今やっても意味がない。だから認められうることに変更して技術者資格を作ろうという話のようである。(新しく)獲得する部分と、今まで賭けてきた職能確立はどうか、それをメンバーシップでやろうという話のようだが、①番と②番のJIA建築家で、①番にCPDが入っている以上、新規入会者は入会する際にCPDが義務づけになる。入会者が減る可能性もある。一方で現会員は(CPDを)取らなくて良い、という話しになり中途半端な感がある。一気に全会員CPD義務づけなのか、緩和規程は無いのか等々の各論が色々出てくると予想される。この後の会長の話しを聞き、議論する時間は無いかもしれないが、懇親会の場合などで議論してもらえればと感じている。(水野)
- ・士会は統括専攻建築士ということだが、それを資格としたいという根本的なことがどこまで動きができてきているか疑問。士会の方から専攻建築士は得意分野を示すだけであって資格にしたいと言う声は聞こえないとの意見もある。そのあたり佐藤会長がどのような考えがあるのか伺ってみたい。(森)

(2) 支部報告

割愛

(3) 委員会、地区会、研究会報告

- ⑥ 総務委員会 (笹野)
委員会を先週の月曜日に行った。
- ⑦ 広報委員会
特になし
- ⑧ ブリテン委員会 (川本)
5月18日にアーキテクト編集会議あり。7/8/9月号の掲載内容検討中。次回は6月20日に行う。
- ⑨ 研修委員会 (東福)
特になし
- ⑩ 職能・資格制度委員会 (杉本)
次回委員会6月14日を予定。資格制度に関する佐藤会長との意見交換を8月頃に予定。課題は沢山あると思うので皆様の参加をお願いしたい。
- ⑪ 事業委員会 (黒野)
6月1日に全国大会エクスカージョンに関する議題を含む拡大委員会開催を予定。
- ⑫ 建築相談委員会 (柳澤) 2022年度 相談委員会報告 資料-6

本年度の相談件数 15 件、一昨日追加で計 16 件。傾向としては 3 月までは少なく 4 月から急に増えた。スマイル経由が 3 月までゼロだったのが 4 月以降急増。JIA 会員からの相談が 2 件あったのも特徴。クレーム相談がほとんどだが、設計的な耐震診断依頼が 1 件あり構造設計者を紹介。この辺りが増えると良い。岐阜、静岡、三重の案件をここ数年愛知で受けていたが、今年度から各地域会に振るようにした。相談回答に関して調停的な案件は弁護士法の絡みで建築士では対応できず弁護士会等を紹介することになるが、東京では顧問弁護士がいるので地域格差がある。他に住宅紛争処理委員会に相談委員会から 7 名、建築紛争解決センターに 25 人、裁判所へ JIA から 3 名、専門家派遣をしている。

⑬ JIA 愛知・大学特別委員会

⑭ 住宅研究会（西村）

5 月 25 日に委員会開催。事業委員会との関係もあるが全国大会エクスカージョンについての段取りを進めることを確認。建築家カタログの体裁等を編集者と進めている。

⑮ 保存研究会（澤村）

全国大会に合わせて保存情報Ⅳの発刊に向け、印刷会社をイズミさんをお願いしようと調整中。

⑯ 行政 WG

（報告無し）

⑰ 地区連絡会

（報告無し）

⑱ 建築家+特別委員会（上原）

5 月 12 日、発行前すり合わせをする予定だったが延期になり、本来であれば今日の総会に発行を間に合わせたかったができなかった。引き続き発行すべく準備を進めていきたい。

⑲ JIA 愛知・賛助会

（報告無し）

（4）その他報告（愛知役員会）

① 役員会等の日程について（森）

資料-7

日程変更はないが議事録担当の修正あり。

3. 審議事項

① 2023 年度通常総会議案書(案)の承認について（森）

資料-8

訂正等ないか事前配信した。[案]を取った形で総会に向かう決まりになったので承認をお願いしたい。→拍手承認。

4. 協議事項

① 愛知県建築物地震対策推進協議会 次年度の総会出席者について（森）

6①と同様。5 月 16 日に総会が行われた。協議会に 5 万 4 千円を出している。名工大井戸田教授の記念講演あり。事務局の方に「木造住宅 低コスト 耐震補強の手引き:2023 年版」が届いているので、是非回覧を希望。見寺氏から後任を誰かにとのこと、立候補があれば。立候補がなければ野々川福地域会長をお願いしたい。

5. 専決事項（後援名義・広告掲載・協賛など）

（報告無し）

6. その他報告（外部団体等）

① 愛知県建築物地震対策推進協議会 総会（5/16）（森）

資料-9

4①に同じ

② 西尾市生涯学習センターコンペについて（澤村）

支部事業だが愛知の会員が主体なので報告する。昨年度に引き続き設計者選定コンペ支援と、設計者が決まったら基本設計の支援を行うことで西尾市と東海支部が契約する。5 月 12 日応募案締め切り。相当多数応募あり。6 月 17 日に一次審査、5 者に絞られる。9 月 9 日に二次公開審査の予定。今年度の

契約については西尾市と手続き中。4月5日に遡っての契約になる予定。

7. 監査意見

- ・本日は総会もあるので頑張って区切りをつけて行きたい。(鈴木)
- ・先の議題で述べたが(資格制度に関して)一気に方向性が出てきそうなので、8月に資格制度委員会で開催されると聞いた意見交換会に関しては是非、賛否も含めて議論を求む。支部長と前支部長出席を出席に記載のこと。(水野)

次回役員会 2023年6月16日(金) 17:00~19:00 (JIA 東海支部事務局 会議室・WEB 会議併用)

次回議事録担当委員会：住宅研究会

(次回総務委員会：2023年6月12日(月) 18:00~)

資料提出先：間瀬高歩 総務委員長

議事録作成 柳澤力
議事録署名人 生津康広
議事録署名人 杉本憲治